

週間感染症情報

2020年22-23週 2020年5月25日より2020年6月7日まで

22週 23週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)		
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	4	4
手足口病		6
ヘルパンギーナ	1	
伝染性紅斑		1
感染性胃腸炎	11	11
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	4	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	8
ヘルペス性口内炎	1	
アデノウイルス感染症	1	
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ(臨床診断含む)		
インフルエンザA		
インフルエンザB		

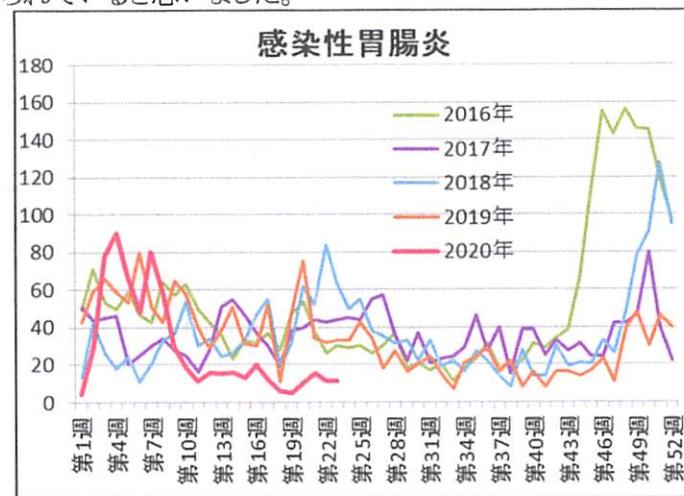
下のグラフの様に感染症は非常に少ないです。

14-23週の9週間の合計報告数は260例(2019年は892例あり)で昨年の29%でした。

新型コロナウイルス感染症対策として、体調不良で休んだ場合に出席停止扱いとなり、教育委員会より逐次報告していただいています。毎日25人前後で特に増えているということはありません。長い休み明けで、体力低下もあり暑さに慣れていないこともあり、頭痛や発熱など熱中症をおもわせる症例が増えています。運動時はもちろんですが登下校時も距離をとったり会話を控えたりするならばマスクの着用は必要ないと思います。

手足口病やヘルパンギーナ等、夏のエンテロウイルスによる疾患の報告がありますが、大きな流行にはなっていません。焼き肉関連のカンピロバクター腸炎が2例ありました。これから、集まってバーベキューの機会も増えます。しっかり火を通して食べるようにして下さい。感染性胃腸炎の報告も右下のグラフの様に例年より少ないです。

園医をしている保育園の健診に行きましたが、皆元気で風邪症状の園児はほとんどいませんでした。感染予防対策の徹底と体調不良者は登園しないこともあり、感染症の流行が抑えられていると思いました。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)